HUAWEI P30 lite

HWV33

取扱説明書

■オンラインマニュアル



さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『オンラインマニュアル』は、本製品から以下の操作でご確認できます。

ホーム画面→［ツール］→［取扱説明書］

また、『オンラインマニュアル』はauホームページからもご確認できます。

https://www.au.com/online-manual/hwv33/

■auかんたんガイド



はじめてスマートフォンをお使いの方へ、使い方をわかりやすく説明したアプリをご用意しております。

ホーム画面→［auかんたんガイド］

■本書

本書は、Androidバージョン9の内容で記載しています。

最新版はオンラインマニュアルまたはauホームページに掲載の『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。

https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/

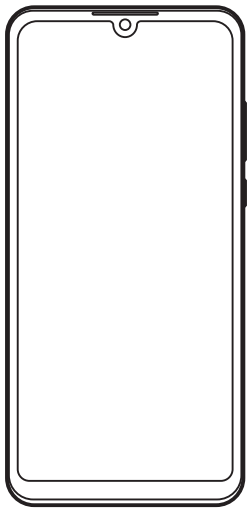
ごあいさつ

このたびは、HUAWEI P30 lite HWV33（以下、「HWV33」、「本製品」もしくは「本体」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本製品に付属する『設定ガイド』および『取扱説明書』（本書）をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。
本書は、ソフトウェアバージョンEMUI 9.1.0の内容で記載しています。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

● 本体



● HUAWEI Quick Charger（ACアダプタ／USBケーブル）
● イヤホンマイク（試供品）
● クリアケース（試供品）
● SIM取り出しピン（試供品）
● 取扱説明書（本書）
● 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

● microSDメモリカード

memo

◎ 電池は本製品に内蔵されています。

◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■『設定ガイド』／『取扱説明書』（本書）

主な機能の主な操作のみ説明しています。

■オンラインマニュアル



さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『オンラインマニュアル』は、本製品から以下の操作でご確認できます。

ホーム画面→［ツール］→［取扱説明書］

また、『オンラインマニュアル』はauホームページからもご確認できます。

https://www.au.com/online-manual/hwv33/

■『取扱説明書 詳細版』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版』は、auホームページでご確認できます。

https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/

■auかんたんガイド

はじめてスマートフォンをお使いの方へ、使い方をわかりやすく説明したアプリをご用意しております。

ホーム画面→［auかんたんガイド］

■For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the "Basic Manual" from the au website.

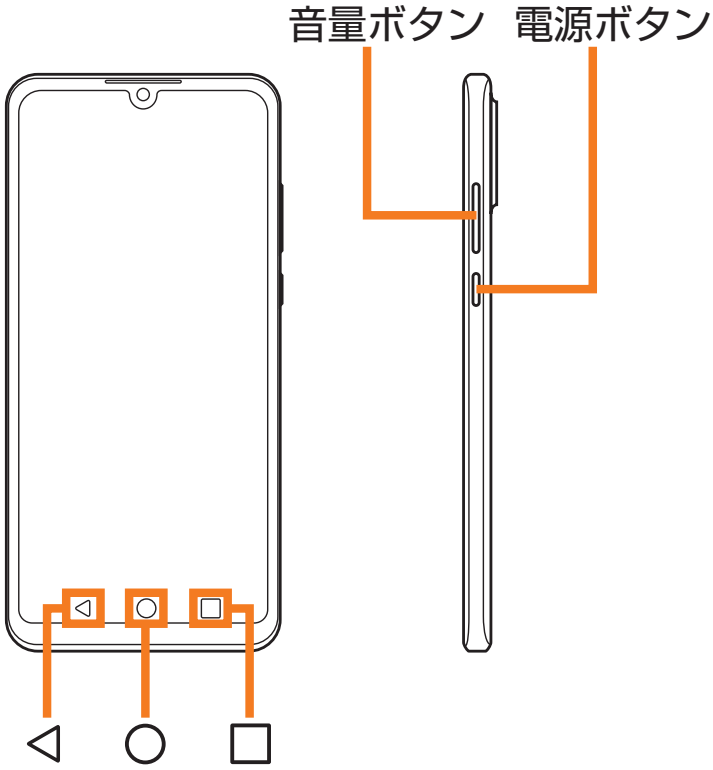
『取扱説明書・抜粋（英語版）』をauホームページに掲載しています。

Download URL: https://www.au.com/english/support/manual/

本書の表記方法について

■掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。



■項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
ホーム画面→［ ］→［1］［4］［1］→［ ］	ホーム画面下部の （電話）をタップします。続けて **1** 、**4** 、**1** の順にタップして、最後に をタップします。
ホーム画面→［ ］	ホーム画面下部の をタップします。

タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です。

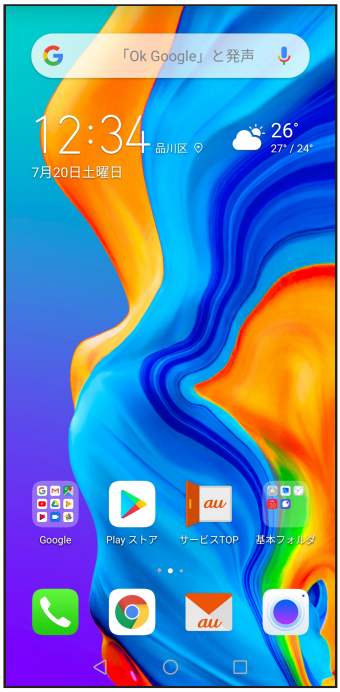
■掲載されているイラスト・画面表示について

本書はau Nano IC Card 04を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。
本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



実際の画面



本書の記載例

memo

◎ 本書では本体カラー「ピーコックブルー」の表示を例に説明しています。

◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

◎ 本書では「au Nano IC Card 04」の名称を「au ICカード」と表記しています。

◎ 本書では「microSD™メモリカード（市販品）」「microSDHC™メモリカード（市販品）」「microSDXC™メモリカード（市販品）」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

◎ 本書の表記の金額は特に記載のある場合を除き全て税抜です。

◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ …… 1
同梱品一覧 …… 1
取扱説明書について …… 2
本書の表記方法について …… 4

目次 ……7

注意事項 ……9

本製品のご利用について …… 9
安全上のご注意（必ずお守りください）…… 12
材質一覧 …… 30
取り扱い上のご注意 …… 32
Bluetooth® ／無線LAN（Wi-Fi®）機能について …… 40
各種暗証番号／ PINコードについて …… 43
データ通信料についてのご注意 …… 45
アプリケーションについて …… 45
アプリの権限を設定する …… 46
マナーも携帯する …… 47

ご利用の準備 …… 49

各部の名称と機能 …… 49
ステータスインジケータについて …… 52
クリアケース（試供品）を取り付ける／取り外す …… 53
au ICカードについて …… 54
au ICカードを取り付ける／取り外す …… 56
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す …… 59
充電する …… 62
電源を入れる／切る …… 65
ロック画面 …… 66
イヤホンマイク（試供品）を使用する …… 70

基本操作 …… 71
タッチパネルの使いかた …… 71
ホーム画面を利用する …… 74
アプリを起動する …… 76
本製品の状態を知る …… 76
マナーモードを設定する …… 79
機内モードを設定する …… 80
自分の電話番号を確認する …… 80
顔認証機能 …… 80
指紋認証機能 …… 82
文字を入力する …… 85
カメラを利用する …… 88

電話 …… 92
電話をかける …… 92
電話を受ける …… 93

付録 …… 94
ソフトウェアを更新する …… 94
故障とお考えになる前に …… 95
アフターサービス …… 96
SIMロック解除 …… 99
周辺機器 …… 99
主な仕様 …… 100
携帯電話機の比吸収率（SAR）について … 102
FCC Regulatory Compliance …… 103
EU Regulatory Conformance …… 105
輸出管理規制 …… 106
知的財産権について …… 106

注意事項

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

- 故障とお考えになる前に、「故障紛失サポート」アプリ（▶ P.95）の「クイック診断」および「トラブル診断」でご確認ください。

■ クイック診断

ホーム画面→［au］→［故障紛失サポート］→［クイック診断してみる］

■ トラブル診断

ホーム画面→［au］→［故障紛失サポート］→［便利な機能］→［トラブル診断を試す］

以下のauホームページからもご確認いただけます。
https://www.au.com/trouble-check/

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください（ただし、LTE／WiMAX 2+／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております）。
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用しての接続はできません。
- 本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。

- 本製品に付属のHUAWEI Quick Chargerは国内でのご利用を前提としています。国外での使用はできません。海外での充電は、海外で使用可能なACアダプタをお買い求めください。
  (HUAWEI Quick Charger that comes with this Product is designed for use in Japan only. Do not use this charger outside Japan. To charge this Product abroad, purchase an AC adapter that is usable in the country/region you are staying.)
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品（オプション品含む）の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
輸入元：華為技術日本株式会社
製造元：Huawei Technologies Co., Ltd.

memo

◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

◎ OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。

◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3の発生が想定される」内容です。

※1　重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2　軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3　物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■禁止・強制の絵表示の説明

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■本体、内蔵電池、HUAWEI Quick Charger、au ICカード、クリアケース（試供品）、イヤホンマイク（試供品）、SIM取り出しピン（試供品）、周辺機器共通

⚠ 危険



高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ ご注意いただきたい例

- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける


分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。


禁止

本製品の背面カバーを取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。


水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


水濡れ禁止

ヘッドセットジャックや外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


指示

オプション品は、auが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告


禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

ヘッドセットジャックや外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。


指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。


指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。


指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。

また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下等に注意し、特に給油中は使用しないでください。可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。


指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本製品の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意


禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。


禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。


禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。


禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。au ICカード／ microSDメモリカードトレイやSIM取り出しピン（試供品）などの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。


指示

本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品や内蔵電池・アダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■本体について

⚠ 危険


禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。


禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり､硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。


指示

本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告


禁止

フラッシュ／フォトライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。


禁止

自動車などの運転者に向けてフラッシュ／フォトライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。


禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。


禁止

本製品内のau ICカードやmicroSDメモリカードの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。 また、au ICカードやmicroSDメモリカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。


指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。


指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。


指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。


指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本製品に噛みつかないようご注意ください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、auショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。


禁止

au ICカードやmicroSDメモリカードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM取り出しピン（試供品）の先端にご注意ください。

SIM取り出しピン（試供品）の先端に触れると、けがなどの原因となります。


指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。


指示

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質について（▶P.30「材質一覧」）


指示

本製品のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。


指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■HUAWEI Quick Chargerについて

⚠ 警告



アダプタやＵＳＢケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



雷が鳴り出したら、アダプタやＵＳＢケーブルには触れないでください。
感電などの原因となります。



コンセントにつないだ状態で外部接続端子をショートさせないでください。また、外部接続端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



アダプタやＵＳＢケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



コンセントにＡＣアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



ＡＣアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



本製品にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードやＵＳＢケーブル、外部接続端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V ～ 240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）


指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

アダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、アダプタやＵＳＢケーブルのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタやUSBケーブルのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

本製品にアダプタやＵＳＢケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


指示

外部接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

外部接続端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。


禁止

コンセントにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。

やけどなどの原因となります。

■au ICカードについて

⚠ 注意


指示

au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠ 警告


指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源OFFなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■クリアケース（試供品）について

⚠ 注意



禁止

クリアケース（試供品）に本製品を入れるときは、指を挟まないでください。

けがなどの原因となります。



指示

皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質について（▶P.30「材質一覧」）

■イヤホンマイク（試供品）について

⚠ 警告


禁止

自転車や自動車などの運転中や歩きながらのゲームや動画・音楽再生に使用しないでください。
安全性を損ない事故の原因となります。

⚠ 注意


指示

ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。


指示

皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について（▶P.30「材質一覧」）

■SIM取り出しピン（試供品）について

⚠ 警告


禁止

SIM取り出しピン（試供品）の先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。

⚠ 注意


禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、窒息、傷害などの原因となります。


指示

皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について（▶P.30「材質一覧」）

材質一覧

＜本体＞

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイ、外装ケース（リア部）	ガラス	AFコーティング
ディスプレイ飾り	PC+10%GF	−
外装ケース（側面部）	PC+20%GF	NCVM
電源ボタン、音量ボタン、指紋スキャナー	PC	塗装処理
au ICカード／microSDメモリカードトレイ	PC+10%GF+ステンレス	NCVM
カメラレンズ飾り、指紋スキャナー飾り	アルミニウム合金	陽極
カメラレンズ	ガラス	シルク印刷、AFコーティング

使用箇所	使用材質	表面処理
受話口飾り	ステンレス	PVD
フラッシュ／フォトライト	PMMA	−
保護フィルム	PET	AF処理

＜HUAWEI Quick Charger＞

使用箇所	使用材質	表面処理
ACアダプタ本体	PC	—
電源プラグ（金属部）	Cu	Niメッキ
電源プラグ（樹脂部）	PC、ポリアミド	—
USB端子（金属部）	ステンレス、Cu	Niメッキ
USB端子（樹脂部）	PBT、ポリアミド	—
USBケーブル、USB Type-Cプラグ／USB Type-Aプラグ（樹脂部）（ケーブルとの接続部）	TPE	—
USB Type-Cプラグ／USB Type-Aプラグ（金属部）	ステンレス	Niメッキ
USB Type-Cプラグ／USB Type-Aプラグ（樹脂部）（内部）	ポリアミド	—

＜クリアケース（試供品）＞

使用箇所	使用材質	表面処理
本体	PC	外側：高光沢処理

＜イヤホンマイク（試供品）＞

使用箇所	使用材質	表面処理
イヤホン部（筐体）、リモコン	PC、ABS	—
プラグ（金属部）	Cu	Niメッキ
プラグ（樹脂部）	POM	—
ケーブル	TPE	—

＜SIM取り出しピン（試供品）＞

使用箇所	使用材質	表面処理
本体	ステンレス	—

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、HUAWEI Quick Charger、充電用機器、au ICカード、クリアケース（試供品）、イヤホンマイク（試供品）、SIM取り出しピン（試供品）、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続器を外部接続端子やヘッドセットジャックに差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。（周囲温度5℃～ 35℃、湿度5%～ 95%の範囲内でご使用ください。）
  - HUAWEI P30 lite HWV33本体
  - au ICカード（HUAWEI P30 lite HWV33本体装着状態）
  - HUAWEI Quick Charger（本製品と接続しての充電時）
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。（周囲温度5℃～ 35℃、湿度35%～ 85%の範囲内でご使用ください。）
  - 充電用機器
  - 周辺機器
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子やヘッドセットジャックをときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子やヘッドセットジャックを変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。

- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 外部接続端子やヘッドセットジャックをショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 水などの液体をかけないでください。また風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。
- 水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。

● ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。

● 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

● 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

● 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。

● ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。

● タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

● 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク㊣」がau電話本体内で確認できるようになっております。
≪確認方法≫
ホーム画面→［基本フォルダ］→［設定］→［システム］→［認証マーク］
本製品内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

● 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 照度センサーを指でふさいだり、照度センサーの上にシールなどを貼ったりすると、周囲の明暗に照度センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 通常はau ICカード／ microSDメモリカードトレイを取り付けた状態で使用してください。au ICカード／ microSDメモリカードトレイを取り付けずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のau ICカード／ microSDメモリカードトレイの挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入したりすると故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。

- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について



（本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。）
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。

- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。

- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ HUAWEI Quick Charger、充電用機器について

- 指定の充電用機器の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。アダプタやUSBケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ au ICカードについて

- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因になります。
- カードに損傷を与えるようなこと（高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど）はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ USBケーブルについて

- USBケーブルのコードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、USBケーブルのプラグとアダプタの接続部を無理に曲げたりしないでください。アダプタやUSBケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- USBケーブルのプラグをアダプタから抜くときは、プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ クリアケース（試供品）について

- クリアケース（試供品）が汚れた場合は清掃用アルコールをしみ込ませた布などで拭いてください。定期的にお手入れ（半年に1度程度）を行うことをおすすめいたします。
- クリアケース（試供品）に無理な力がかからないようにご使用ください。故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。

■ イヤホンマイク（試供品）について

- イヤホンマイク（試供品）のコードを本製品に巻きつけないでください。また、イヤホンマイク（試供品）のプラグを無理に曲げたりしないでください。イヤホンマイク（試供品）のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- イヤホンマイク（試供品）のプラグをヘッドセットジャックから抜くときは、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。
- イヤホンマイク（試供品）のプラグにゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。

■ SIM取り出しピン（試供品）について

- SIM取り出しピン（試供品）を、au ICカード／microSDメモリカードトレイ以外の穴などに挿入しないでください。故障、破損の原因となります。
- 無理な力がかからないように使用してください。故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。
- SIM取り出しピン（試供品）は他の携帯端末には使用しないでください。携帯端末の故障、破損の原因となります。

■ カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。
  本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

Bluetooth® ／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。

- 本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域では無線LAN（Wi-Fi®）機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN（Wi-Fi®）機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

◎ 本製品はすべてのBluetooth® ・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth® ・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。

◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth® ・無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®·無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎ 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎ Bluetooth® ・無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。



- Bluetooth®機能：2.4FH4/XX8
  本製品は2.4GHz帯を使用します。FH4は、変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。XX8はその他の方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。

- 無線LAN（Wi-Fi®）機能：2.4DS4/OF4
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
- 使用帯域：全帯域
  全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く）。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52（5.2GHz帯／ 36, 40, 44, 48ch）
W53（5.3GHz帯／ 52, 56, 60, 64ch）
W56（5.6GHz帯／ 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch）

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
J52	W52	W53	W56

各種暗証番号／ PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。
なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更の上お使いください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● 画面のロックの設定

使用例	セキュリティの設定／解除をする場合
初期値	お客様が設定した任意のパターン／ PIN ／パスワード

● アプリのロック

使用例	アプリの起動時にロックを設定する場合
初期値	お客様が設定した任意の4桁の番号

PINコードについて

■PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は入力が不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4 ～ 8桁のお好きな番号、入力要否は入力が必要な設定に変更できます。
- 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更の上ご使用ください。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- PINコードは「データの初期化」を行ってもリセットされません。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。
  このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどのダウンロード、アプリによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
  ※ 無線LAN（Wi-Fi®）接続の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、他のアプリケーションや携帯電話全体の動作に影響を及ぼすものもあります。また、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「許可しない」／「許可」をタップしてください。

例：フォトを初めて起動した場合

1 ホーム画面→［Google］→［フォト］

2 アクセス権限の確認画面→［許可しない］／［許可］

通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。
利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

memo

◎ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。

◎ 権限の設定を変更するには、ホーム画面→［基本フォルダ］→［設定］→［アプリ］→［権限］→設定を変更するアプリをタップ→変更する権限の［ ］／［ ］と操作します。

◎ アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■こんな場所では、使用禁止！

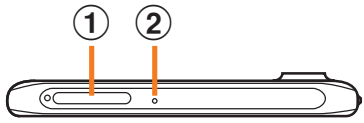
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■周りの人への配慮も大切

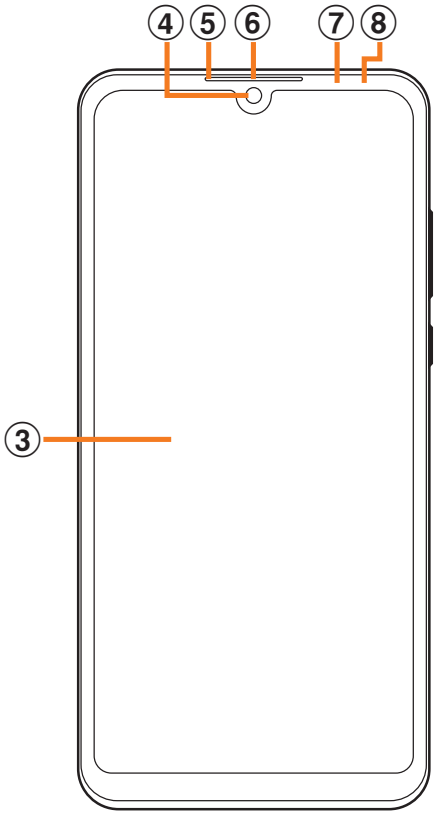
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

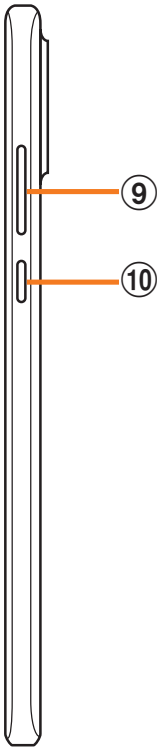
各部の名称と機能



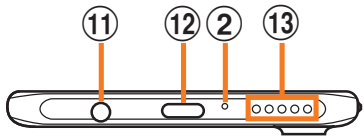
《上面》



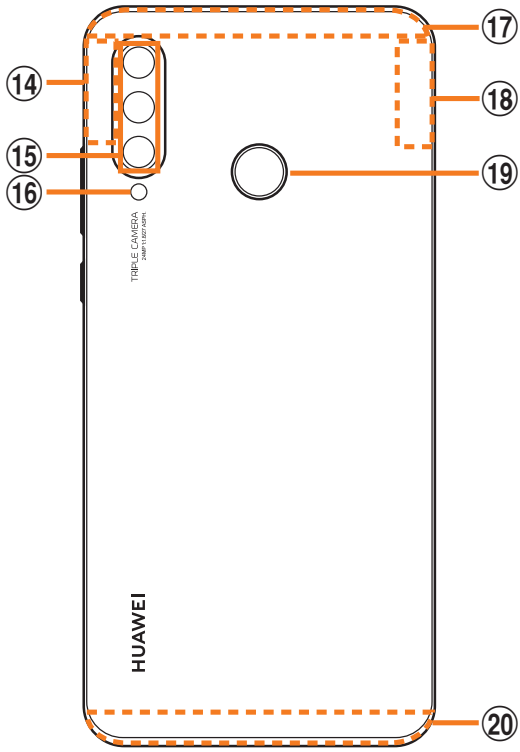
《前面》



《右側面》



《底面》



《背面》

① au ICカード／ microSDメモリカードトレイ
② マイク
③ ディスプレイ（タッチパネル）
④ フロントカメラ
⑤ ステータスインジケータ
⑥ 受話口
⑦ 近接センサー
⑧ 照度センサー
⑨ 音量ボタン
⑩ 電源ボタン
⑪ ヘッドセットジャック
⑫ 外部接続端子

⑬ スピーカー
⑭ 内蔵Wi-Fi® ／ Bluetooth®アンテナ※
⑮ トリプルレンズカメラ
⑯ フラッシュ／フォトライト
⑰ 内蔵サブアンテナ※
⑱ 内蔵GPSアンテナ※
⑲ 指紋スキャナー
⑳ 内蔵メインアンテナ※

※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手で覆ったり、シールなどを貼ったりすると通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。

memo

◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切る場合は、「強制的に電源を切り再起動する」（▶P.66）をご参照ください。

◎ 外装ケースは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。

保護フィルムについて

◎ お買い上げ時に本製品に貼付してある透明フィルムは、納品まで本体を保護することを目的としております。まれに保護フィルムの傷・気泡・はがれなどが見られることがありますが、製品本体の品質には問題ございません。保護フィルムの不良については、保証対象外となります。
本製品は保護フィルムを剥がしてからご使用ください。

ステータスインジケータについて

ステータスインジケータの点灯／点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

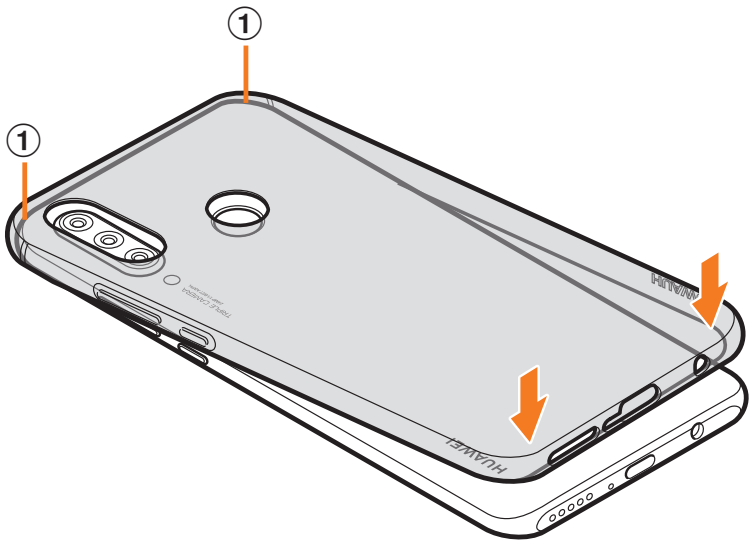
ステータスインジケータの色と動作	通知内容
赤の点滅	電池残量2%未満であることを示します。
赤の点灯	電池残量2% ～ 4%または充電中（電池残量10%未満）であることを示します。
オレンジ色の点灯	充電中（電池残量10%～90%未満）であることを示します。
緑の点灯	充電中（電池残量90%以上）または満充電状態であることを示します。
緑の点滅（スリープモード中）	不在着信／通知メッセージなどがあることを示します。

クリアケース（試供品）を取り付ける／取り外す

- クリアケース（試供品）の取り付け／取り外しは、本製品のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。また、電源ボタンや音量ボタンを押さないようにご注意ください。
- クリアケース（試供品）の取り付け／取り外しは、無理な力を入れて曲げたり、ねじったりしないでください。

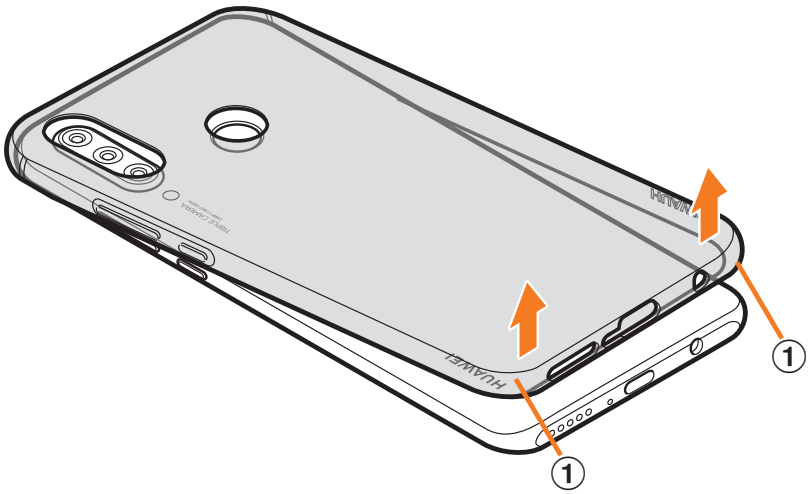
クリアケース（試供品）を取り付ける

1 クリアケース（試供品）の①の部分を本製品に引っ掛けて、図の向きでクリアケース（試供品）を取り付ける



クリアケース（試供品）を取り外す

1 クリアケース（試供品）の①の部分に指先をかけて、図の向きでクリアケース（試供品）を取り外す



au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

本製品はau Nano IC Card 04に対応しております。

《au Nano IC Card 04》



memo

◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au ICカードのIC（金属）部分には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎ au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。

◎ 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。

◎ 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

◎ au ICカードの取り付け／取り外しには、付属のSIM取り出しピン（試供品）が必要です。

■ au ICカードが挿入されていない場合

au ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、ステータスバーには  が表示されます。

- 電話をかける※／受ける
- SMSの送受信
- ＋メッセージの送受信
- auメールの初期設定および送受信
- PINコード設定
- 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

※ 110（警察）・119（消防機関）・118（海上保安本部）への緊急通報も発信できません。ただし、海外では緊急通報に限り発信可能な場合があります（なお、緊急通報番号は国によって異なります）。

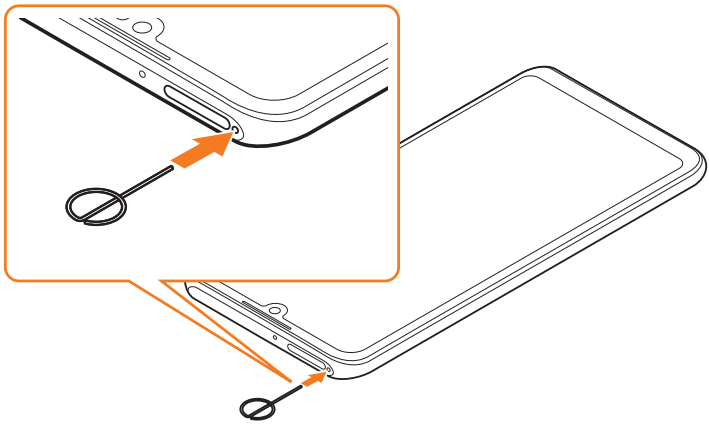
au ICカードを取り付ける／取り外す

au ICカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

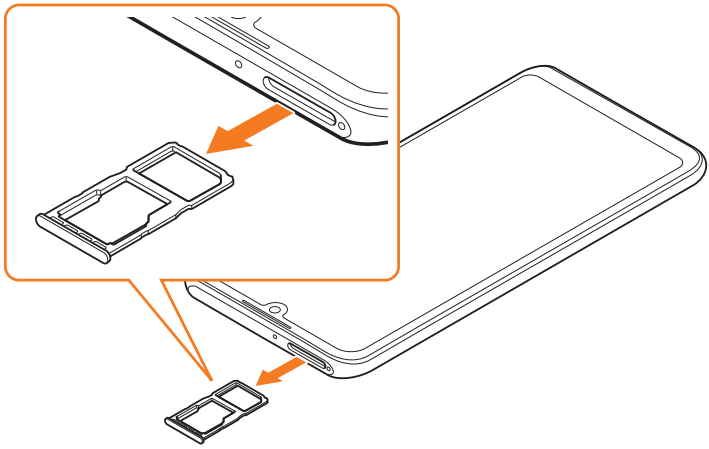
au ICカードを取り付ける

1 SIM取り出しピン（試供品）の先端をau ICカード／ microSDメモリカードトレイの穴に差し込み、矢印の方向にゆっくりと押し込む

トレイが押し出されます。

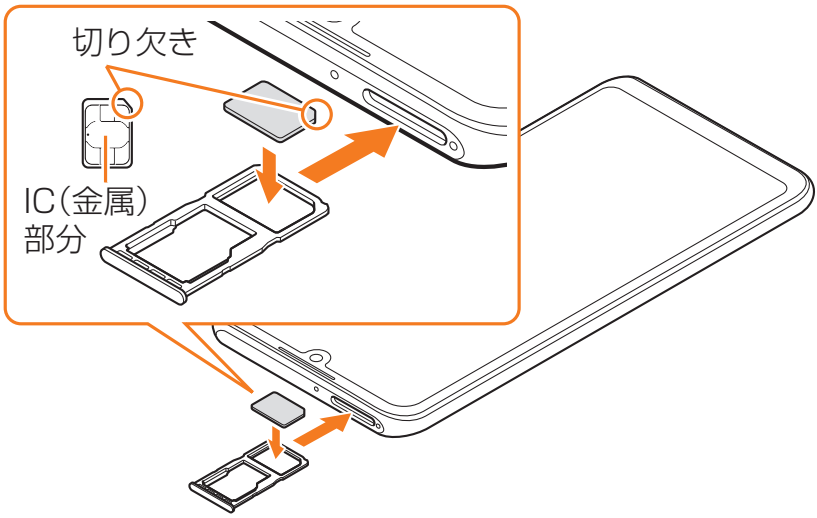


2 トレイをまっすぐに引き出し、本体からトレイを取り外す

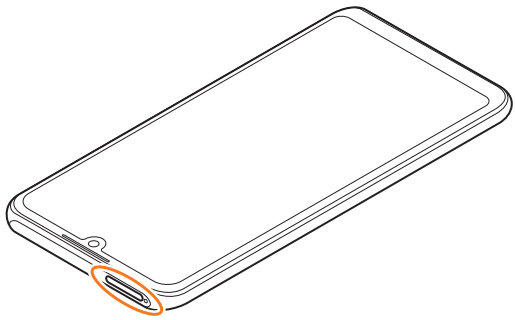


3 au ICカードのIC（金属）部分を下にしてトレイにはめ込み、トレイごと本体に差し込んで奥までまっすぐ押し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- au ICカードがトレイから浮かないように、はめ込んでください。



4 トレイをしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認

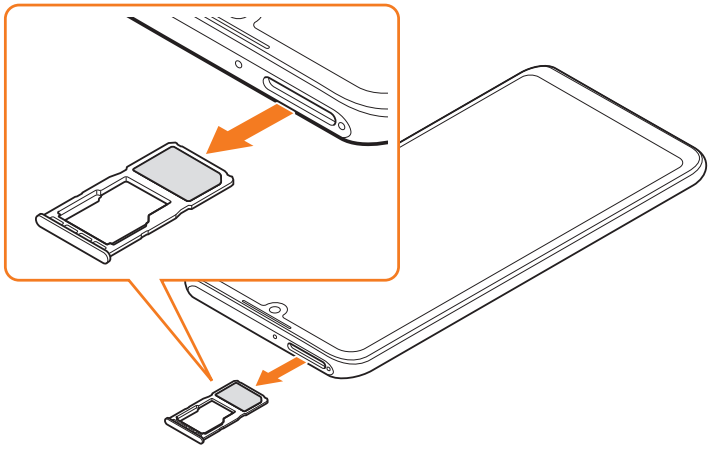


au ICカードを取り外す

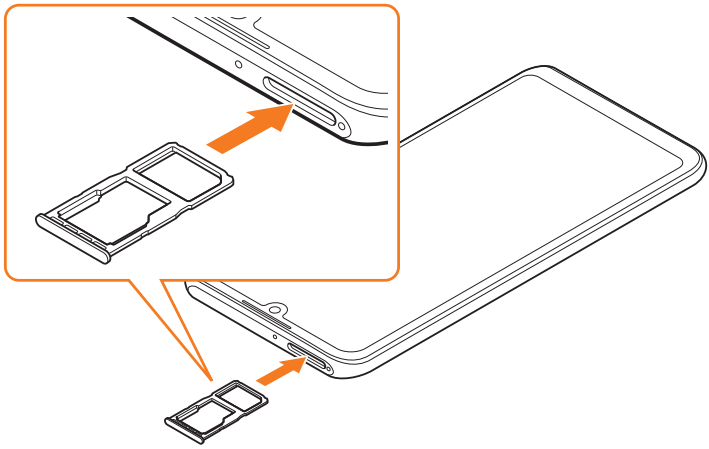
1 SIM取り出しピン（試供品）の先端をau ICカード／ microSDメモリカードトレイの穴に差し込み、ゆっくりと押し込む（▶P.56）

トレイが押し出されます。

2 トレイをまっすぐに引き出し、本体からトレイを取り外す



3 au ICカードを取り出し、トレイを本体に差し込んで奥までまっすぐ押し込む



4 トレイをしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認（▶P.58）

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

microSDメモリカードを取り付ける

microSDメモリカードの取り付けは、本製品の電源を切ってから行います。

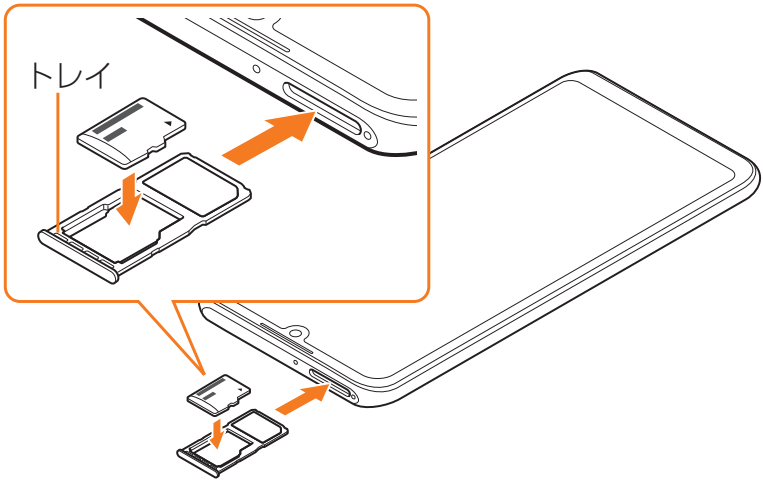
1 SIM取り出しピン（試供品）の先端をau ICカード／ microSDメモリカードトレイの穴に差し込み、ゆっくりと押し込む（▶P.56）

トレイが押し出されます。

2 トレイをまっすぐに引き出し、本体からトレイを取り外す（▶P.57）

3 microSDメモリカードの端子（金属）面を下にしてトレイにはめ込み、トレイごと本体に差し込んで奥までまっすぐ押し込む

- microSDメモリカードがトレイから浮かないように、はめ込んでください。



4 トレイをしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認（▶P.58）

memo

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

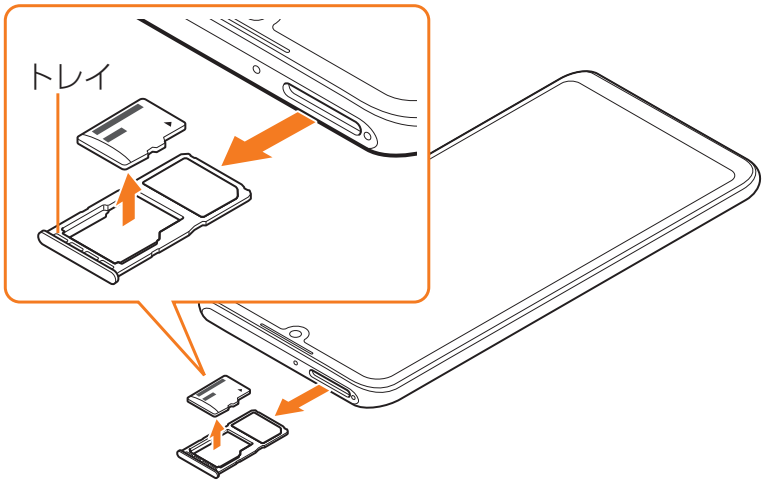
microSDメモリカードの取り外しは、本製品の電源を切ってから行います。

1 **SIM取り出しピン（試供品）の先端をau ICカード／ microSDメモリカードトレイの穴に差し込み、ゆっくりと押し込む（▶P.56）**

トレイが押し出されます。

2 **トレイをまっすぐに引き出し、本体からトレイを取り外す（▶P.57）**

3 **microSDメモリカードを取り出し、トレイを本体に差し込んで奥までまっすぐ押し込む**



4 **トレイをしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認（▶P.58）**

memo

◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったときは、充電してからお使いください。

memo

◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません（充電しながら、カメラの起動や通信を行うと、内蔵電池の温度が高くなります）。

◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。

◎ 指定の充電用機器を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、内蔵電池の寿命が短くなります。

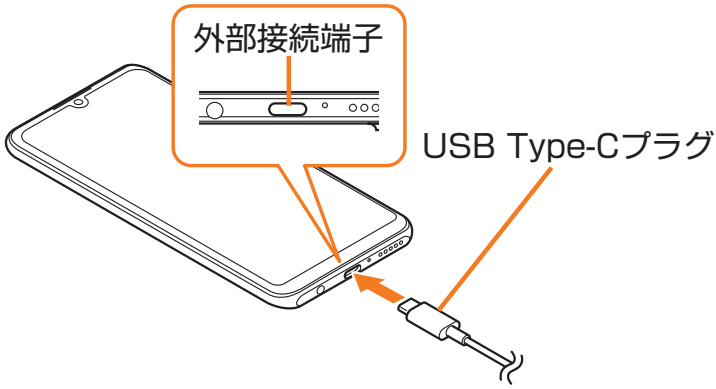
◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。

付属のACアダプタを使って充電する

本製品に付属のHUAWEI Quick Charger（ACアダプタ／USBケーブル）を接続して充電する方法を説明します。

- ACアダプタには保護フィルムが貼付されております。ご使用時は剥がしてください。

1 付属のUSBケーブルのUSB Type-Cプラグを本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む



2 USBケーブルのUSBプラグをACアダプタのUSBポートに差し込み、ACアダプタの電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

画面上部のステータスバー（▶P.76）に  が表示され、充電が開始されます。充電が完了するとステータスバーに「100%」が表示されます。

3 充電が終わったら本製品の外部接続端子からUSBケーブルのUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜く

4 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

memo

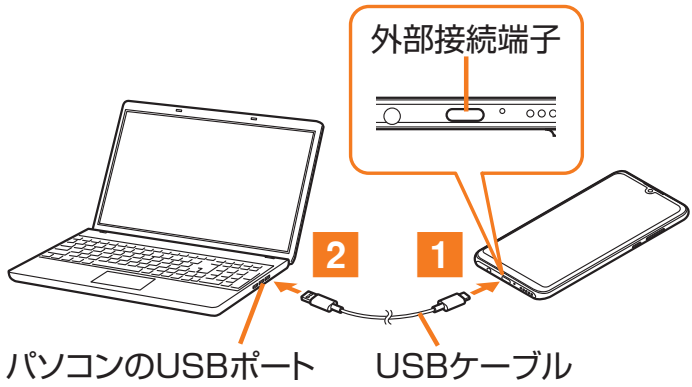
が表示されない場合

◎ 画面上部のステータスバーに が表示されるまでしばらくお待ちください。しばらく待っても表示されないときは接触不良が考えられます。USBケーブルのUSB Type-Cプラグが確実に接続されているかご確認ください。それでも表示されない場合は充電を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。

パソコンを使って充電する

1 付属のUSBケーブルのUSB Type-Cプラグを本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む

2 付属のUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートにまっすぐに差し込む



3 USB使用モード画面→［充電のみ］

通知パネルの「 設定」が表示されている通知をタップしても設定できます。

memo

◎ 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。
◎ HUAWEI Quick Chargerでの充電と比べて、時間が長くかかる場合があります。
◎ パソコン上に「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源ボタン（2秒以上長押し）

ロック画面が表示されます。
画面をスワイプすると、ロックが解除されます。

- お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。
  初期設定について詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

memo

◎ 電源を入れる際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

電源を切る

1 電源ボタン（3秒以上長押し）

2 ［電源を切る］→［タップして電源を切る］

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

1 電源ボタンを10秒以上長押し

memo

◎ 強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

ロック画面

電源を入れたときやスリープモード解除後に表示されます。
ロック画面では、日付と時刻、通知情報を確認したり、カメラのショートカットを利用できます。



① **ステータスバー**

② **通知情報**
不在着信などの新着情報が表示されます。

③ **日付と時刻**

④ **カメラのショートカット**
上にスワイプするとカメラが起動します。

ロック画面を解除する

1 ロック画面で下端以外の場所をスワイプする

ロックが解除され、ホーム画面またはスリープモードに移行する前の画面が表示されます。

- 画面の下端をスワイプすると、カメラが起動したりロック画面の各種操作アイコンが表示されたりします。
- 画面ロックの設定によって、解除の方法が異なります。



・画面の下端を上にスワイプするとロック画面の各種操作アイコンが表示され、各アプリ／機能を利用できます。



・各アイコンをタップすると、次の操作ができます。

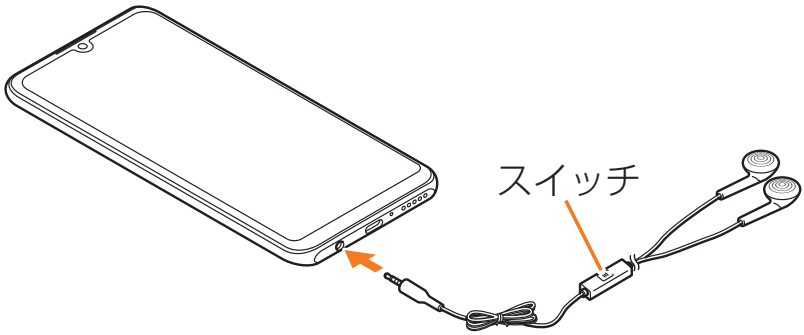
アイコン	概要
／	ロック画面のカバー画像を固定表示するか、自動で切り替えるかどうかを設定します。
	ロック画面のカバー画像を削除します。
	ロック画面のカバー画像をメールやBluetooth®機能などで共有します。
	ロック画面のカバー画像に追加する画像を選択します。
	音声レコーダーアプリを表示します。

アイコン	概要
	電卓アプリを表示します。
	懐中電灯が点灯します。
	時計アプリを表示します。
	AI Visionを起動し、スキャンした被写体から関連する情報を表示します。

イヤホンマイク（試供品）を使用する

付属のイヤホンマイク（試供品）を接続します。

1 付属のイヤホンマイク（試供品）のプラグを本製品のヘッドセットジャックに差し込む



memo

◎ イヤホンマイク（試供品）のスイッチで以下の操作ができます。
- スイッチを押す：音楽データの再生／一時停止を切り替えます。電話の着信時は電話を受けたり、通話中にミュートにしたりすることができます。
- スイッチを1秒以上長押し：Googleアシスタントを起動できます。電話の通話中は通話を終了します。

基本操作

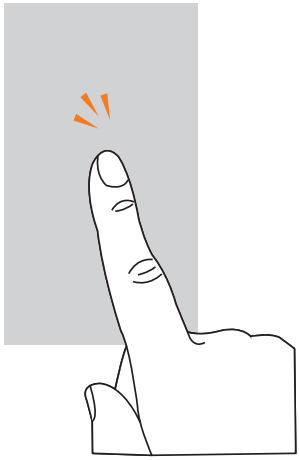
タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作

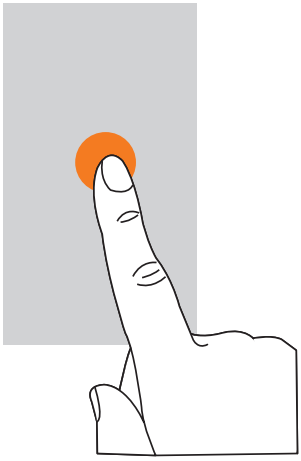
■タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



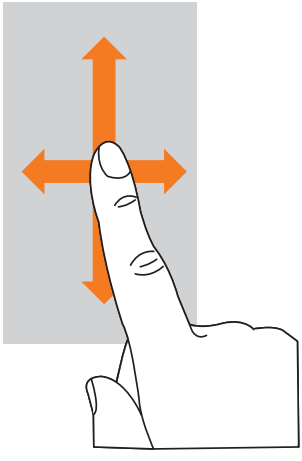
■ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。



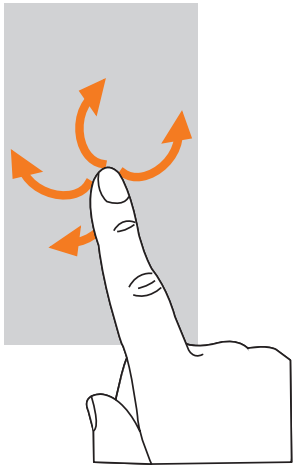
■スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



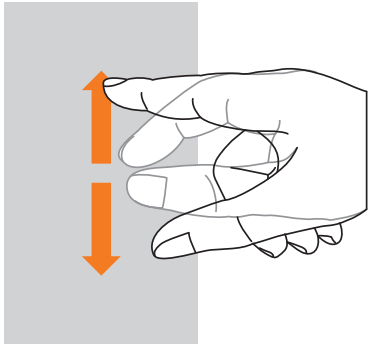
■フリック（スワイプ）

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



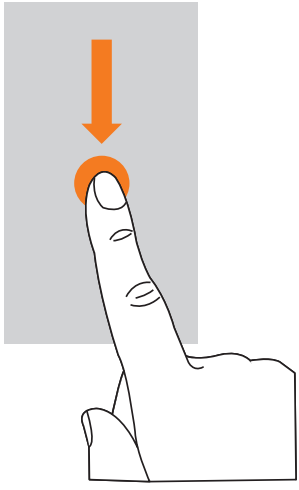
■ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。



■ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



ホーム画面を利用する

ホーム画面の見かた

お買い上げ時のホーム画面では、スマートフォンでよく使うアプリがワンタッチで利用できます。ホーム画面は切り替えることもできます。



① ステータスバー
② クイック検索ボックス（ウィジェット）
③ 時計・天気（ウィジェット）
④ アプリ／フォルダ
⑤ インジケータ
⑥ ドックバー

⑦ ナビゲーションキー

◁ 戻るボタン

1つ前の画面に戻ります。

○ ホームボタン

ホーム画面を表示します。

□ タスクボタン

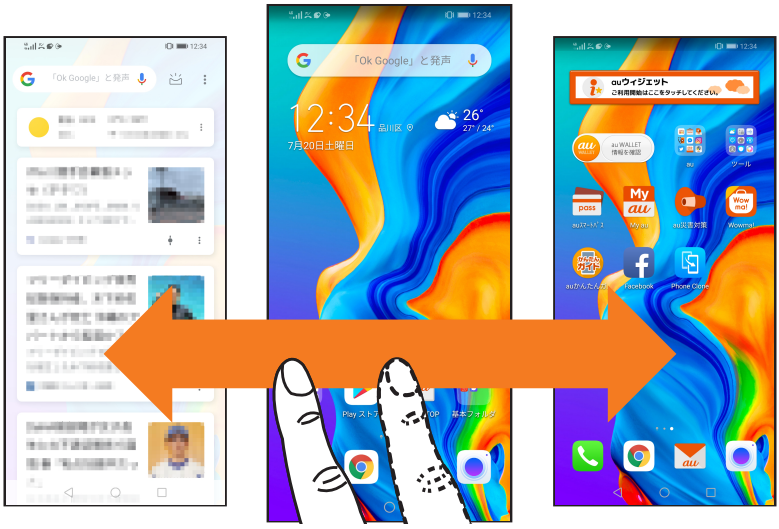
起動中のアプリ一覧を表示します。

memo

◎ ○をロングタッチするとGoogleアシスタントを起動できます。

ホーム画面の操作

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。



アプリを起動する

ホーム画面でアプリのアイコンをタップすると、アプリが起動します。

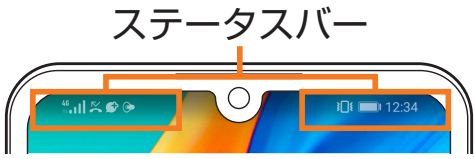
- 起動したいアプリのアイコンがフォルダ内にある場合は、フォルダをタップしてからアプリのアイコンをタップします。

memo

◎ アプリのアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

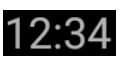
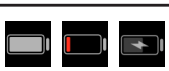


ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。
また、ステータスバーを下方向にスライドすると通知パネルが表示され、通知の内容を確認できます（▶P.78）。

■主な通知アイコンの例

アイコン	概要
	電波の強さ（受信電界）
	4G（LTE ／ WiMAX 2+）※データ通信状態
	機内モード
	不在着信あり
	新着メールあり（auメール）
	新着メールあり（Gmail）
	新着＋メッセージあり／新着SMSあり
	着信中
	Wi-Fi®の電波の強さ • 通信中はアイコンの右側に  が表示されます。

■主なステータスアイコンの例

アイコン	概要
	時刻
	電池レベル状態
	バイブレートのみ設定中／サイレント設定中

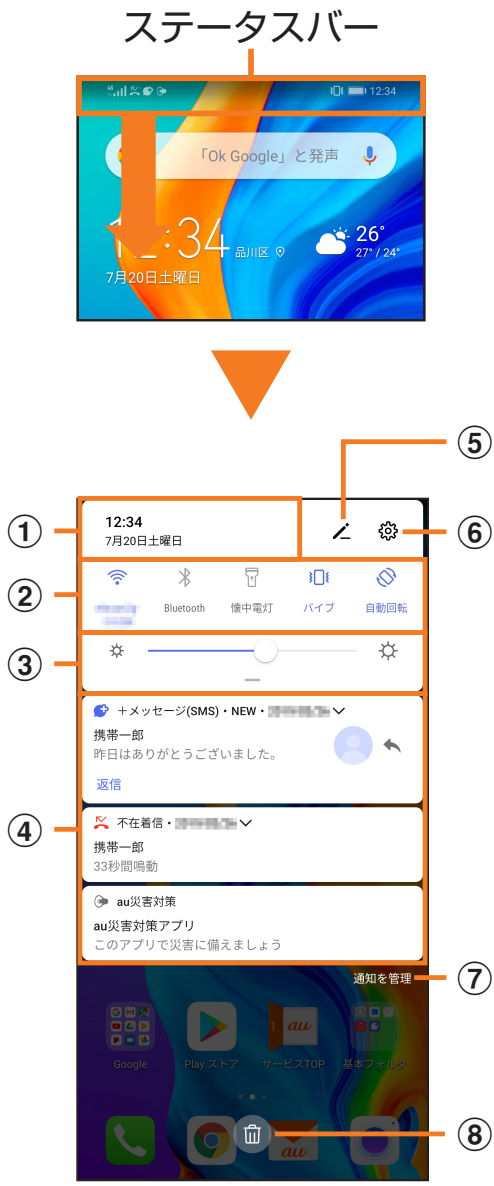
※ 日本国内においては、「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況などに応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネルについて

ステータスバーの左側に通知アイコンが表示されているときに、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、通知の概要を確認できます。また、ショートカットをタップすると、Wi-Fi®や画面の自動回転などよく使う機能のオン／オフがすぐに設定できます。

1 ステータスバーを下方向にスライド

通知パネルが表示されます。



《通知パネル》

① **日付と時刻**

② **ショートカット**

よく使う機能のオン／オフなどを設定します。下にスライドすると、表示されていないショートカットが表示されます。

・「自動回転」をタップすると、画面の自動回転のオン／オフを切り替えられます。※

③ **画面の明るさ**

④ **通知情報**

⑤ **通知パネル編集**

⑥ **設定**

⑦ **通知を管理**

通知の表示方法をカスタマイズできます。

⑧ **消去**

通知情報と通知アイコンの表示を消去します。ただし、通知情報によっては消去できない場合があります。

※ 本製品の状態が水平、または水平に近いときや、ホーム画面やアプリなどによっては、画面の縦／横表示が切り替わらない場合があります。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 **ホーム画面→［基本フォルダ］→［設定］→［サウンド］**

2 **「サイレントモード」の［ ］**

・ マナーモード時にバイブレータを振動させるには、「サイレントモード時のバイブ」をオンにします。

memo

◎ 以下の操作でもマナーモードを設定できます。
- 音量ボタン（上／下）を押す→［ ］／［ ］／［ ］
- 通知パネルを開く→［サウンド］／［バイブ］／［サイレント］

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能（電話、データ通信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能）がすべてオフになります。

1 ホーム画面→［基本フォルダ］→［設定］→［無線とネットワーク］→「機内モード」の［ ］

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面→［基本フォルダ］→［設定］→［システム］→［端末情報］→［端末の状態］

電話番号欄に電話番号が表示されます。

顔認証機能

顔認証機能を利用した画面ロックの解除方法を設定します。

■顔認証利用時のご注意

- 顔認証は、パターン、PIN、パスワード、指紋より安全性が低くなります。
- 顔の似ている他の人でもロックが解除できる場合があります。

■顔登録時のご注意

- 登録の際は、メガネや帽子、マスクの着用、ひげや化粧の濃さなどの状態などをよく確認してください。
- カメラのレンズに汚れがないか確認のうえ、顔登録してください。

顔認証を登録する

1 ホーム画面→［基本フォルダ］→［設定］→［セキュリティとプライバシー］→［顔認証］

- あらかじめ画面ロックを設定している場合は、表示されたロック解除画面でロックを解除します。
- 画面ロックを設定していない場合は、予備のロック解除方法としてパターン、PIN、パスワードのいずれかを登録します。画面の指示に従って操作してください。

2 ［顔を登録］→画面の指示に従って顔を登録

登録が完了すると顔認証設定画面が表示されます。

3 顔認証設定画面で各項目を設定

顔認証を行う

1 ロック画面表示中に画面に顔を向ける→顔認証が成功したらロック画面をスワイプ

- 顔認証設定時に「ダイレクトロック解除」をオンにしている場合は、顔認証が成功すると自動的に画面ロックが解除されます。

指紋認証機能

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証に利用するものです。指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能を利用できないことがあります。
- 認証性能（正しく指を触れた際に指紋が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけている
  - 指が濡れていたり、汗をかいたりしている
  - 指紋の間が埋まっていたり、泥や油などで汚れている
  - 手が荒れたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
  - 手が極端に乾燥している、乾燥肌である
  - 磨耗して指紋が薄い
  - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■指紋スキャナー利用時のご注意

- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
  - ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
  - 爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、指紋スキャナー表面にキズが入る
  - 泥などで指紋スキャナー表面が汚れる
  - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露があると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋スキャナー表面は時々清掃してください。
- 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋スキャナー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。

指紋を登録する

1 ホーム画面→［基本フォルダ］→［設定］→［セキュリティとプライバシー］→［指紋ID］→［指紋管理］

- あらかじめ画面ロックを設定している場合は、表示されたロック解除画面でロックを解除します。
- 画面ロックを設定していない場合は、予備のロック解除方法としてパターン、PIN、パスワードのいずれかを登録します。画面の指示に従って操作してください。

2 **[新しい指紋]→指紋スキャナーに指の腹を押し付ける**

振動を感じたら一度指を離し、画面の指示に従って指の別の場所を押しつけてください。以降、「登録に成功しました」のメッセージが表示されるまで繰り返し行います。

3 **[OK]**

4 **指紋管理画面で指紋認証を利用する機能を選択**

画面ロックの解除に利用する場合は［端末のロックを解除］をオンに設定します。

memo

◎ 登録した指紋の確認や追加登録／削除、名前の変更、指紋認証を利用する機能の変更などを行うには、ホーム画面→［基本フォルダ］→［設定］→［セキュリティとプライバシー］→［指紋ID］→［指紋管理］と操作してください。

指紋認証を行う

1 **画面消灯中／ロック画面表示中／指紋認証画面表示中に、指紋スキャナーに指の腹で触れる**

画面ロックが解除されます。

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

キーボードを切り替える

1 文字入力画面→［⌨］

2 キーボードのタイプを選択

- テンキーボードでは、キーを繰り返しタップするか、上下左右にフリックすることで、入力したい文字を入力できます。
- QWERTYキーボードまたは50音キーボードでは、入力したい文字の文字入力キーをタップします。QWERTYキーボードで文字種が「かな」の場合は、ローマ字入力になります。

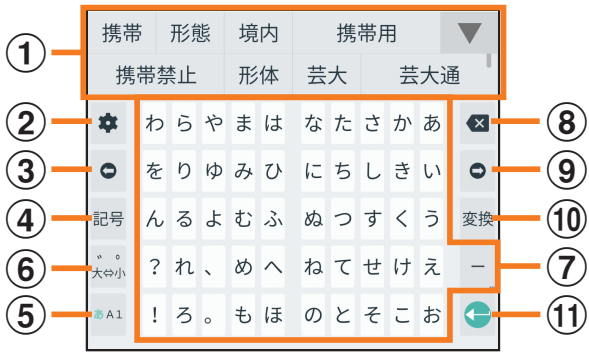
キーボードで入力する



《テンキーボード》



《QWERTYキーボード》



《50音キーボード 縦書き（右）》

① 変換候補を表示します。

② キーに割り当てられた文字を逆順に表示したり、直前の操作をキャンセルしたり、各種設定画面を表示（50音キーボードの場合）したりします。

③ カーソルを左に移動したり、変換時の範囲を変更したりします。

④ 英数字・カタカナの変換候補を表示したり、絵文字／記号／顔文字を入力したりできます。

⑤ 入力する文字種（かな／英字／数字）を切り替えます。

⑥ 入力中の文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたり、Gboardのキーボードに切り替えたりできます。

⑦ 各キーに割り当てられた文字を入力できます。

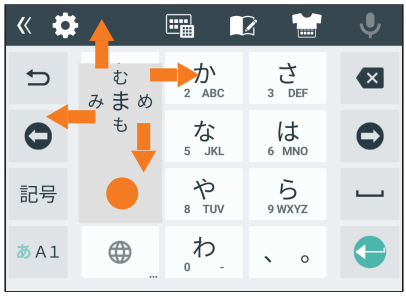
⑧ カーソルの左にある文字を削除します。

⑨ カーソルを右に移動したり、変換時の範囲を変更したりします。

⑩ スペースを入力したり、かな入力時に文字を変換したりします。

⑪ 入力中の文字を改行／確定します。

■フリック入力について



キーを上下左右にフリックして、文字を入力することができます。キーをロングタッチすると、フリック入力で入力できる候補（フリックガイド）が表示されます。入力できる候補を確認してからフリックしても、文字を入力することができます。

memo

◎ キー操作時の操作音やバイブレータなどを設定するには、文字入力画面→［⚙］→［キー操作］と操作します。

カメラを利用する

■カメラを利用する前に

- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。
  撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。
  また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- マナーモードを設定している場合でも、静止画撮影時にシャッター音やセルフタイマーのカウントダウン音が鳴ります。動画録画時も、録画開始時／録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。

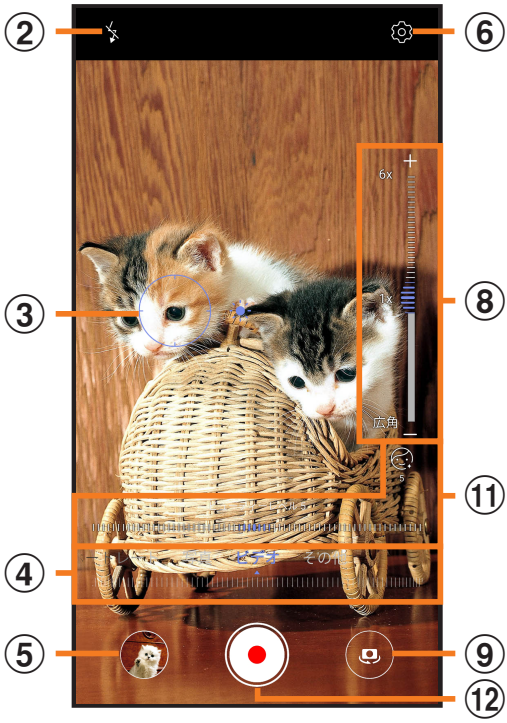
撮影画面の見かた

1 ホーム画面→［ ］

撮影画面が表示されます。



《静止画撮影画面》



《動画撮影画面》

① AI Vision

被写体をスキャンし、それに関連する情報が表示されます。

② フラッシュ／フォトライト

③ オートフォーカス枠

タップしたところにピントが合います。
静止画撮影時に画面をロングタッチすると、フォーカス（外側）と露出の計量点（内側）が表示され、それぞれお好みの位置にドラッグして調整できます。

④ 撮影モード表示

選択している撮影モードを表示します。スライド／フリックまたはタップして切り替えます。

⑤ 前回撮影した画像のサムネイル

⑥ 設定
解像度や位置情報の利用などを設定できます。

⑦ AIカメラの有効／無効の切り替え
AI機能が被写体やシーンを認識し、適切な撮影方法を自動で設定してクオリティの高い写真を簡単に撮影することができます。

⑧ ズーム

⑨ カメラ切り替え

⑩ シャッターボタン

⑪ ビューティーレベル
スライダーをドラッグして美肌調整できます。

⑫ 動画の撮影開始／停止ボタン

memo

◎ 画面消灯中／画面ロック表示中に、音量ボタン（下）をすばやく2回押すと、ウルトラスナップショットが起動し、静止画が撮影されます。

◎ 撮影画面で何も操作しないまま一定の時間が経過すると、撮影画面が暗くなり「画面をタップしてカメラを起動」が表示されます。「画面をタップしてカメラを起動」が表示されている間は、画面をタップすると撮影画面が表示されます。

電話

電話をかける

■電話番号を入力して発信する

1 ホーム画面→［ ］
電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力→［ ］

■連絡先から発信する

1 電話番号入力画面で「連絡先」タブをタップ

2 電話をかけたい相手をタップ→電話番号をタップ

■通話履歴から発信する

1 電話番号入力画面で、通話履歴から電話をかけたい相手をタップ

■au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

1 ホーム画面→［ ］

2 国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→［ ］

※「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

※ 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部例外もあります）。

電話を受ける

電話がかかってくると、次の操作で電話を受けることができます。

■バックライト消灯中／ロック画面表示中

1 着信中に「 」を「 」の方向にスライド

- 着信を拒否するには「 」を「 」の方向にスライドします。

2 電話を切るときは［ ］

■バックライト点灯中

1 着信中に［ ］

- 着信を拒否するには「 」をタップします。

2 電話を切るときは［ ］

付録

ソフトウェアを更新する

■ ご利用上の注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157 ／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ないとソフトウェア更新ができません。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはトヨタ au取扱店（一部ショップを除く）にお持ちください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

データ通信またはWi-Fi®ネットワーク接続を使用し、インターネット経由で、本製品に直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 **ホーム画面→［基本フォルダ］→［設定］→［システム］→［ソフトウェア更新］**

2 **［更新の確認］**

新しいソフトウェアがあるか確認します。
以降は、画面の指示に従って操作してください。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に「故障紛失サポート」アプリの「クイック診断」および「トラブル診断」でご確認ください。

■ クイック診断

ホーム画面→［au］→［故障紛失サポート］→［クイック診断してみる］

■ トラブル診断

ホーム画面→［au］→［故障紛失サポート］→［便利な機能］→［トラブル診断を試す］

以下のauホームページからもご確認いただけます。
https://www.au.com/trouble-check/

オンラインマニュアルまたはauホームページ掲載の『取扱説明書 詳細版』の「故障とお考えになる前に」もあわせてご覧ください。
https://www.au.com/online-manual/hwv33/
https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/

アフターサービス

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのａｕの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、ａｕアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。

◎ 本体内蔵の電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。

◎ 本製品本体、HUAWEI Quick Charger以外の付属品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社はこのHWV33本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号（IMEI番号）の情報をお知らせください。製造番号（IMEI番号）は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。（または、修理ができない場合があります。）
   - ① 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
   - ② 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
   - ③ 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
   - ④ 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
   - ⑤ 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

※ 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポートについて

auの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。月額利用料およびサービスの詳細については、auホームページをご確認ください。
https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/

memo

◎ ご入会は、auの端末のご購入時のお申し込みに限ります。

◎ ご退会された場合は、次回のauの端末のご購入時まで再入会はできません。

◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるauの端末のみが本サービスの提供対象となります。

◎ auの端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。

◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいauの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のauの端末に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。

◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難·紛失の場合は、auショップもしくはトヨタ au取扱店までお問い合わせください。

SIMロック解除

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の操作は、ホーム画面→［基本フォルダ］→［設定］→［システム］→［端末情報］→［端末の状態］→［SIMロックの状態］から行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。
  https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/

周辺機器

■ HUAWEI Quick Charger（59200JHQ）

■ TypeC共通ACアダプタ01（0601PQA）（別売）
TypeC共通ACアダプタ02（0602PQA）（別売）

■ 共通ACアダプタ05（0501PWA）（別売）※

■ MicroB-TypeC変換アダプタ（0601PHA）（別売）

■ auキャリングケースGブラック（0106FCA）（別売）

※ ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ（別売）が必要です。

memo

◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。
https://onlineshop.au.com/

主な仕様

■本体

ディスプレイ		約6.1インチ、約1,677万色、TFT液晶
		2,312×1,080（FHD+）
質量		約159g（内蔵電池含む）
サイズ（幅×高さ×厚さ）		約73mm×153mm×7.5mm（最厚部8.7mm）
内部メモリ容量（ストレージ／RAM）		ストレージ：128GB／RAM：4GB
連続通話時間	国内	約1,180分
	海外（GSM）	約1,020分
連続待受時間※1	国内	約390時間（LTE/WiMAX2+ エリア）
	海外（GSM）	約310時間
連続テザリング時間※2		約610分（WAN側 LTE/WiMAX2+）
Wi-Fiテザリング最大接続数		8台
充電時間		約100分（HUAWEI Quick Charger使用時） 約140分（TypeC共通ACアダプタ01使用時） 約100分（TypeC共通ACアダプタ02使用時）

※1　連続待受時間は、静止状態での待受です。待受状態でのプロトコル通信動作を考慮しています。

※2　連続テザリング時間は、WAN側LTEとWi-Fi子機は1台での測定です。LAN側Wi-Fiは、802.11nです。（下りTCP 1.2Mbpsのデータ転送相当で測定）

memo

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ 無線LAN（Wi-Fi®）

通信方式	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠
使用周波数帯	2.4GHz帯／ 5GHz帯

■ Bluetooth®

通信方式	Bluetooth® 標準規格Ver.4.2 BLE
出力	Bluetooth® 標準規格Power Class1
通信距離※1	見通しの良い状態で10m以内
対応プロファイル・機能※2	GATT、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）、AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）、HFP（Hands-Free Profile）、HID（Human Interface Device Profile）、HSP（Headset Profile）、OPP（Object Push Profile）、PAN（Personal Area Networking Profile）、PAN NAP、PAN U、PBAP（Phone Book Access Profile）※3、SPP（Serial Port Profile）、apt-X、MAP（Message Access Profile）
使用周波数帯	2.4GHz帯

※1　通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2　Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※3　電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。

■ カメラ有効画素数

アウトカメラ	約2,400万画素+約800万画素+約200万画素
インカメラ	約2,400万画素

■HUAWEI Quick Charger

入力	AC100～240V 0.5A 50／60Hz
出力	DC 5V 2A／9V 2A
外形寸法（幅×高さ×厚さ）	約40mm×23.3mm×52mm
質量	約52g
環境条件	動作周囲温度範囲：-10℃～45℃ 動作周囲湿度範囲：5%～95% ※ 本製品と接続しての充電時は、周囲温度5℃～35℃、湿度5%～95%の範囲内でご使用ください。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【HWV33】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
本製品の比吸収率（SAR）については、オンラインマニュアルまたはauホームページ掲載の、『取扱説明書 詳細版』をご覧ください。
https://www.au.com/online-manual/hwv33/
https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/
さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、auホームページをご覧ください。
https://www.au.com/

FCC Regulatory Compliance

■Body worn operation

The device complies with RF specifications when used near your ear or at a distance of 1.50 cm from your body. Ensure that the device accessories, such as a device case and device holster, are not composed of metal components. Keep the device away from your body to meet the distance requirement.

■Certification information (SAR)

This device is also designed to meet the requirements for exposure to radio waves established by the Federal Communications Commission (USA).
The SAR limit adopted by the USA is 1.6 W/kg averaged over one gram of tissue. The highest SAR value reported to the FCC for this device type complies with this limit.

■FCC statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Caution: Any changes or modifications to this device not expressly approved by Huawei Technologies Co., Ltd. For compliance could void the user's authority to operate the equipment.

EU Regulatory Conformance

■Body worn operation

The device complies with RF specifications when used near your ear or at a distance of 0.50 cm from your body. Ensure that the device accessories, such as a device case and device holster, are not composed of metal components. Keep the device away from your body to meet the distance requirement.

■Statement

Hereby, Huawei Technologies Co., Ltd. declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU.

The most recent and valid version of the DoC (Declaration of Conformity) can be viewed at: https://consumer.huawei.com/en/legal/certification

This device may be operated in all member states of the EU.

Observe national and local regulations where the device is used.

This device may be restricted for use, depending on the local network.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Playミュージック、Playミュージック ロゴ、Playムービー、Playムービー ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、Googleドライブ、Googleドライブ ロゴ、Googleマップ ナビ、Google マップ ナビ ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows® 7 ／ Windows® 8.1 ／ Windows® 10は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。

iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2019 All Rights Reserved.

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Bluetooth®およびそのロゴはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.によるこの商標の使用はライセンス供与されています。

WiMAXは、WiMAXフォーラムの商標です。

Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected Setup ロゴ、Wi-Fi Direct®、Miracast®はWi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

Twitter、TwitterロゴはTwitter, Inc. の商標または登録商標です。

InstagramおよびInstagramロゴはInstagram, LLCの商標または登録商標です。

HUAWEIは、HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.の商標または登録商標です。

その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

License

■ オープンソースライセンス

本製品には、GNU General Public License（GPL）、またはGNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。GPL、LGPLのライセンスの具体的な条件については、本製品の「端末情報」の「法律情報」からご参照いただけます。詳細についてはHUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.のホームページをご覧ください。

■お客様各位■

このたびは、「HUAWEI P30 lite HWV33」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
『取扱説明書』につきましては、アップデートを行いました。また、記載内容に変更がございます。
アップデート内容と、変更内容は下記のとおりです。

《第1.1版》

● 1ページ:『ごあいさつ』

変更前: 記載なし

変更後: 本書は、ソフトウェアバージョンEMUI 9.1.0の内容で記載しています。

● 3ページ:『For Those Requiring an English Instruction Manual』

変更前: You can download the English version of the "Basic Manual" from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

変更後: You can download the English version of the "Basic Manual" from the au website.
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています。

●5ページ:『掲載されているイラスト･画面表示について』画面(実際の画面、本書の記載例)

アップデート後の画面に差し替え

●40ページ:『取り扱い上のご注意』■著作権･肖像権について

変更前: ●お客様が本製品で撮影･録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用･改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影･録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

変更後: ●お客様が本製品で撮影･録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用･改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影･録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

● 45ページ:『アプリケーションについて』

変更前: ・アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

変更後: ・アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、他のアプリケーションや携帯電話全体の動作に影響を及ぼすものもあります。また、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

● 64ページ:『パソコンを使って充電する』

変更前: **3 USB表示モード画面→[充電のみ]**

変更後: **3 USB使用モード画面→[充電のみ]**

● 65ページ:『電源を切る』

変更前: **1 電源ボタン(2秒以上長押し)**

変更後: **1 電源ボタン(3秒以上長押し)**

● 74ページ:『ホーム画面の見かた』画面(ホーム画面)
アップデート後の画面に差し替え

● 75ページ:『ホーム画面の操作』画面(画面3点)
アップデート後の画面に差し替え

● 78ページ:『通知パネルについて』

変更前: ステータスバーの左側に通知アイコンが表示されているときに、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、通知の概要を確認できます。また、ショートカットをタップすると、よく使う機能のオン／オフがすぐに設定できます。

変更後: ステータスバーの左側に通知アイコンが表示されているときに、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、通知の概要を確認できます。また、ショートカットをタップすると、Wi-Fi®や画面の自動回転などよく使う機能のオン／オフがすぐに設定できます。

● 78ページ:『通知パネルについて』画面(《通知パネル》)

アップデート後の画面に差し替え

● 79ページ:『通知パネルについて』

変更前: 記載なし

変更後: ・「自動回転」をタップすると、画面の自動回転のオン／オフを切り替えられます。※

※本製品の状態が水平、または水平に近いときや、ホーム画面やアプリなどによっては、画面の縦／横表示が切り替わらない場合があります。

● 84ページ:『指紋を登録する』

変更前: **4 指紋管理画面で指紋認証を利用する機能を選択**

画面ロックの解除に利用する場合は「画面ロックの解除」をオンに設定します。

変更後: **4 指紋管理画面で指紋認証を利用する機能を選択**

画面ロックの解除に利用する場合は「端末のロックを解除」をオンに設定します。

● 89～90ページ:『撮影画面の見かた』画面(《静止画撮影画面》、《動画画撮影画面》)

アップデート後の画面に差し替え

● 90～91ページ:『撮影画面の見かた』

変更前: **③アニメーション写真の有効／無効の切り替え**

変更後: 削除(以降番号繰り上げ)

● 99ページ:『周辺機器』memo

変更前: ◎周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。
http://onlineshop.au.com/

変更後: ◎周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。
https://onlineshop.au.com/

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合案内（通話料無料）
受付時間　9:00～20:00（年中無休）

一般電話からは
フリーコール **0077-7-111**

au電話からは
局番なしの**157**番

盗難・紛失（通話料無料）
受付時間　24時間（年中無休）

一般電話からは
フリーコール **0077-7-113**

au電話からは
局番なしの**113**番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）
フリーコール **0120-977-033**（沖縄を除く地域）
フリーコール **0120-977-699**（沖縄）

故障紛失サポートセンター

紛失・盗難・故障（通話料無料）
受付時間　9:00～20:00（年中無休）
一般電話／au電話から
フリーコール **0120-925-919**



やめましょう、
歩きスマホ。







携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

発売元：KDDI株式会社
沖縄セルラー電話株式会社
輸入元：華為技術日本株式会社
製造元：Huawei Technologies Co., Ltd.
2019年8月 第1.1版